

美術 I

対象クラス	第2学年生活デザイン科、第3学年ビジネス科・ビジネス情報科 選択者	単位数	2
使用教科書	高校生の美術 I (日本文教出版)		
使用副教材	なし		

「美術 I」とはこんな科目です。

美術は、中学校の学習で身に付けたことを、さらに細かく表現し、創作力や表現力、鑑賞力を伸ばします。

科目の到達目標(目標とする検定等)

- ・美術を愛し、美術文化に対する興味・関心を高めます。
- ・自己のイメージを表現するための技能を身に付け、それを活かして創造的に表現する力を養います。
- ・多様な美術に対する理解が深まり、創造的に鑑賞することができるようにします。

評価の観点	割合	評価規準・評価内容	評価の場面・方法等
知識・技能(技術)	4	必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加状況 (制作への取組の姿や態度、授業中の発言、制作の準備) ・制作のはじめや途中のスケッチや試作品など ・学習ノートの学習計画(課題や見通し)や学習記録(自己評価、相互評価など) ・制作した作品 ・鑑賞の学習のレポート
思考・判断・表現	3	感性や想像力を働かせて、創造的な表現を工夫している。	
主体的に学習に取り組む態度	3	美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組んでいる。	

学習計画(どのような内容を、どのような時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	○オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や図録、生徒作品を鑑賞する。 ・多様な自画像の作品を鑑賞し、主題や表現の効果を感じ取る。 ・表現形式や技法の効果を活かし、主題に合った表現効果を構想する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標をもたせ、学習意欲を引き出す。 ・筆、パス、水彩絵の具など描画材の特質を活かして描く。 ・自分の主題に合った色彩や筆遣い、描画材を選択し、効果的に表現をする。 ・自分や仲間の表現の違いや良さを味わう。
前期期末	○生き生きと描く(鑑賞) ○風景画(絵画) ○デッサン(絵画) 【前期期末考査】		
後期中間	○日本の美術(鑑賞) ○デザイン		
学年末	○素材と発見と立体表現(彫刻) 【学年末考査】	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい材料の活用による造形表現の作品を鑑賞し、造形意識を拡大する。 ・風、光、動といったテーマをもち、自己の感情や造形の工夫を大切にしたいアイデアスケッチを行い、構想を練る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真・ビデオ等による表現の特性や機能を考え、自分の表現意図に応じて効果的な表現の構想を練る。 ・素材や材料、用具の特性を活かした表現方法を工夫して表現する。 ・テーマや表現の工夫などを交流し、表現のよさや美しさを鑑賞する。